

# 令和4年度 事業報告書



1 救護活動 P3

---

2 国際活動 P7

---

3 医療事業 P8

---

4 看護師養成事業 P10

---

5 血液事業 P11

---

6 救急法等の講習 P12

---

7 赤十字ボランティア P15

---

8 青少年赤十字 (JRC) P16

---

9 広報活動 P17

---

10 会員の加入促進と活動資金の募集 P18

---

11 令和4年度一般会計歳入歳出決算概要 P20

---

# 岡山県支部 令和4年度 重点項目

## 災害救護体制の整備

平時や災害時において、傷病者を医療機関等へ迅速かつ安全に搬送するため、救急車を更新しました。

また、災害時に被災者を支援するボランティアを育成するため、内閣府が主催した「避難生活支援リーダー／サポーター研修」や社会福祉協議会が主催した「災害ボランティアセンター設置演習」などに参加しました。



## 防災・減災の知識・技術の普及促進

感染対策に十分配慮したうえで、「赤十字防災セミナー」を実施するとともに、指導者養成研修を開催し、指導者を養成しました。

また、岡山県主催の「大学生災害ボランティア研修会」と連携し、若年層に対しても防災・減災の知識・技術の普及を図りました。



## 地域包括ケアの推進

コロナ禍におけるフレイルを予防するため、「クロス体操」のDVD・チラシを講習等において活用することで、地域の方々の健康維持・増進に取り組みました。

また、地域サロン等における講習普及に向けて健康生活支援講習の指導員を養成しました。

救急法等の講習では、ICTを活用し「オンライン講習」として開催しました。



# 1

## 救護活動

日本赤十字社が行う災害救護活動は、医療救護やこころのケア、救援物資の配分、血液製剤の供給、義援金の受付など多岐にわたります。これらの活動は、赤十字の理念に基づき日本赤十字社独自の判断で自主的に行われますが、災害救助法や災害対策基本法、国民保護法においては指定公共機関として、国や地方公共団体への協力も義務付けられています。

令和4年度において、岡山県支部が救護班を派遣した災害はありませんでした。

### ●救護班の編成等

災害時、ただちに被災地へ出動し被災者への救護活動が行えるよう、常備救護班9個班（岡山赤十字病院8個班、岡山赤十字病院玉野分院1個班）を編成するとともに、災害対策本部要員・DMAT要員・薬剤師・血液搬送要員等を任命し、「岡山県支部災害救護業務計画」を基本とした体制を整備しました。



また、災害時における医療ニーズを把握し、災害医療救護関係機関との救護班の活動調整等を行う日赤災害医療コーディネートチームを2チーム編成しました。

### 救護員の任命状況（人）

|                       |      | 日本赤十字社<br>岡山県支部 | 岡山赤十字病院 | 岡山赤十字病院<br>玉野分院 | 岡山県赤十字<br>血液センター |
|-----------------------|------|-----------------|---------|-----------------|------------------|
| 常備<br>救護<br>班         | 医師   |                 | 8       | 1               |                  |
|                       | 看護師長 |                 | 8       | 1               |                  |
|                       | 看護師  |                 | 16      | 2               |                  |
|                       | 主事   |                 | 16      | 2               |                  |
| 災害対策本部要員              |      | 14              | 11      |                 | 8                |
| DMAT要員                |      | 4               | 32      | 2               |                  |
| 薬剤師                   |      |                 | 7       |                 |                  |
| 血液搬送要員                |      |                 |         |                 | 2                |
| 日赤災害医療<br>コーディネーター    |      |                 | 2       |                 |                  |
| 日赤災害医療<br>コーディネートスタッフ |      | 2               | 4       |                 |                  |

●救護員の訓練・研修

救護員の救護技術の向上を図るとともに他機関との連携を強化するため、次の訓練及び研修会を開催、または参加しました。

| 訓練・研修会名       | 実施日        | 内容                                  |
|---------------|------------|-------------------------------------|
| 救護員研修（基礎）     | 令和4年4月16日  | 赤十字の災害救護活動、トリアージ、救護所設営、救護所シミュレーション等 |
| 岡山県支部災害対応訓練   | 令和4年5月30日  | 災害対策本部の設置演習                         |
| こころのケア研修      | 令和4年7月30日  | 概論、被災者へのこころのケア、救護員へのこころのケア等         |
| 岡山県総合防災訓練     | 令和4年9月4日   | 避難所での診療及び避難所環境改善アセスメント訓練            |
| 救護員研修（情報管理）   | 令和4年10月2日  | 広域災害救急医療情報システム（EMIS）、無線、衛星電話の実習等    |
| 救護員研修（実践）     | 令和4年11月27日 | 災害時のリハビリテーション、災害診療記録、避難所活動シミュレーション等 |
| 岡山県支部災害対応訓練   | 令和5年1月20日  | 災害対策本部の設置演習                         |
| 岡山県国民保護共同図上訓練 | 令和5年2月8日   | 情報伝達方法の確認                           |



●被災者の支援

県下での火災等による罹災者に対し、地区・分区を通じて救援物資及び弔慰金をお届けしました。

救援物資等配分の内訳

| 種類    | 交付基準              | 配分数      |
|-------|-------------------|----------|
| 毛布    | 1人につき1枚           | 91枚      |
| 緊急セット | 原則1世帯（4人分）につき1セット | 46セット    |
| バスタオル | 1人につき1枚           | 90枚      |
| 弔慰金   | 死亡者1人につき20,000円   | 240,000円 |

罹災世帯数等

| 区分  | 世帯数  |
|-----|------|
| 全焼  | 39世帯 |
| 半焼  | 2世帯  |
| 部分焼 | 1世帯  |
| 避難  | 2世帯  |
| その他 | 8世帯  |
| 計   | 52世帯 |

|    |     |
|----|-----|
| 死亡 | 12人 |
|----|-----|

●義援金・救援金の受付

令和4年度における受付状況は以下のとおりです。

義援金受付状況

| 名称                 | 件数 (件) | 金額(円)     |
|--------------------|--------|-----------|
| 平成30年7月豪雨災害義援金     | 51     | 8,045,769 |
| 令和2年7月豪雨災害義援金      | 20     | 197,862   |
| 令和4年3月福島県沖地震災害義援金  | 20     | 266,918   |
| 令和4年7月大雨災害義援金      | 13     | 117,581   |
| 令和4年8月3日からの大雨災害義援金 | 40     | 2,243,519 |
| 令和4年台風第15号災害義援金    | 18     | 102,935   |

救援金受付状況

| 名称                | 件数 (件) | 金額(円)      |
|-------------------|--------|------------|
| 無指定海外救援金          | 1      | 500,000    |
| 中東人道危機救援金         | 2      | 20,000     |
| バングラデシュ南部避難民救援金   | 1      | 10,000     |
| アフガニスタン人道危機救援金    | 3      | 170,000    |
| ウクライナ人道危機救援金      | 375    | 34,217,339 |
| 2022年アフガニスタン地震救援金 | 7      | 54,964     |
| 2022年パキスタン洪水救援金   | 7      | 53,128     |
| 2023年トルコ・シリア地震救援金 | 211    | 11,876,030 |

●災害救護用資器材等の整備

災害時の救護活動に欠くことのできない資器材の整備・充実を図り、災害時に有効に活用できるよう、常に点検を行い万全を期しています。

令和4年度は次の資器材等を整備しました。

| 品目      | 整備数 |
|---------|-----|
| 救急車     | 1   |
| 蓄電池 (大) | 1   |
| 蓄電池 (小) | 2   |
| ヘルメット   | 30  |
| 安全靴     | 53  |



### ●臨時救護の実施

不特定多数の人々が集う公共的なイベント・スポーツ大会等において、参加者の安全を図るため、医師・看護師・主事で編成した救護班やボランティアを以下のとおり派遣しました。

| 実施日        | 行事名             | 派遣者数<br>(人) | 取扱傷病者数<br>(人) |
|------------|-----------------|-------------|---------------|
| 令和4年4月17日  | 津山加茂郷フルマラソン全国大会 | 9           | 19            |
| 令和4年11月13日 | おかやまマラソン        | 20          | 30            |
| 令和5年2月26日  | そうじゃ吉備路マラソン     | 12          | 25            |
| 計          |                 | 41          | 74            |

### ●防災教育事業「赤十字防災セミナー」の開催

災害からいのちを守るため、地域コミュニティにおける「自助」「共助」の力を高めることを目的に平成29年度から本格的に取り組んでおり、令和4年度は町内会・自治会等へ以下のとおり指導者を派遣しました。

また、指導者養成研修を開催し、16名の指導者を養成しました。

| カリキュラム名      | 内容   | 件数<br>(件) |
|--------------|--|-----------|
| 災害図上訓練 (DIG) | 住民が居住地域の防災上の脆弱性や強みを地図上で確認し、地図を囲んでの意見交換を通じて防災意識を高める。    | 1         |
| 災害エスノグラフィー   | 過去の大規模災害の被災者の経験談を再編集した読み物を通じて災害を追体験し、被災の具体的なイメージを理解する。 | 2         |
| 災害への備え (講義)  | 災害からいのちを守り、身の安全を確保するために平時から準備すべきことを理解する。               | 14        |
| 計            |  | 17        |

## 2

## 国際活動

赤十字では、国際・国内紛争による被災者への医療や食料等の救援を実施するほか、ジュネーブ条約に基づいて、戦闘に直接参加していない負傷兵や一般市民の保護にあたっています。

また、自然災害等によって被害を受けた被災地への復興支援や防災を通じた地域の基盤づくり等に取り組んでいます。

令和4年度において岡山県支部は、以下の事業を実施しました。

● **インドネシア・コミュニティ防災強化事業**

災害多発国であるインドネシアに対し、災害対応能力の向上や、防災教育に精通する教職員の育成のために資金的援助を引き続き行いました。

● **アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット整備事業**

アジア・大洋州で洪水やサイクロンなどの災害に頻繁に見舞われる国や地域における安全な飲み水の確保や清潔な簡易トイレの設置など、衛生環境を整備するための資金的援助を平成22年度以降引き続き行いました。



©バンラデシ赤新月社

● **「NHK 海外たすけあい」キャンペーンの実施**

世界各地で紛争や自然災害、感染症などに苦しむ人々のため、令和4年12月1日から25日の期間でNHKと共同で募金キャンペーンを実施しました。

| 名称                      | 件数(件) | 金額(円)     |
|-------------------------|-------|-----------|
| 令和4年度(第40回)「NHK海外たすけあい」 | 652   | 9,019,185 |



# 3

## 医療事業

岡山赤十字病院（500床）、岡山赤十字病院玉野分院（83床）、岡山赤十字老人保健施設玉野マリンホーム（100床）において、高度急性期医療をはじめ、慢性期医療から回復期まで特色ある医療事業を展開しました。

令和4年度も各施設においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けながらも公的医療機関として、地域の安定的な医療体制を確保するため、地域医療の連携推進を図りながら、地域からの信頼に応えた安心・安全な医療を提供しました。

### ●岡山赤十字病院

県南東部医療圏の中核病院として、令和4年度においても救命救急センターとしての救急医療、地域がん診療拠点病院等の先進医療、基幹災害拠点病院としての災害医療・救護など、公的医療機関としての役割を担いました。

患者数(人間ドック・健診を除く)

|    |      |          |
|----|------|----------|
| 入院 | 延患者数 | 136,143人 |
|    | 1日平均 | 373.0人   |
| 外来 | 延患者数 | 277,127人 |
|    | 1日平均 | 1,140.4人 |

新型コロナウイルス感染症については、昨年度と同様に救命救急センターに発熱外来（帰国者・接触者外来）を設置し一般外来と区分したほか、「重点医療機関」として岡山県から要請を受け、入院受入のため病床を確保し患者を受け入れました。

また、外来入口での手指消毒、マスク着用の呼びかけ、検温の実施や飛沫防止パネルの設置、病棟における面会制限を行ったほか、職員の健康管理の徹底、職員間の3密（密集・密接・密閉）の回避等に努めるなど、職員一丸となって取り組みました。

令和4年度の患者数は昨年度と比較して、入院は微減、外来は微増となりました。



### ●岡山赤十字病院玉野分院

内科・リハビリテーション科・皮膚科・整形外科に加え、専門外来として呼吸器内科・循環器内科・糖尿病内科・肝臓内科・脳卒中科・心臓血管外科において診療を行い、岡山赤十字病院との連携により急性期及び慢性期の一貫性のある医療を提供しました。

令和4年度は、CT やレントゲン装置の更新、PACS（医療用画像管理システム）の整備により岡山赤十字病院との画像データネットワークも確立され、近隣の医療機関や介護施設からの紹介による入院のさらなる推進を図ると同時に、終末期医療を希望する患者の受け入れ、併設する老人保健施設との連携による在宅復帰を目的とした医療や介護サービスを行い在宅医療の推進にも努めました。

## 患者数（人間ドック・健診を除く）

|    |      |         |
|----|------|---------|
| 入院 | 患者数  | 22,021人 |
|    | 1日平均 | 60.3人   |
| 外来 | 患者数  | 16,843人 |
|    | 1日平均 | 69.3人   |



## ●岡山赤十字老人保健施設玉野マリンホーム

病状が安定した高齢者等の心身の自立を支援し、介護機能を持った包括的ケアサービスを提供する役割を担い、高齢者等の家庭復帰を目指しています。

それらのために、ショートステイや通所リハビリテーションを提供し、併設する居宅介護事業所での介護保険制度におけるケアマネジメントにより、家族・介護者の介護負担軽減に努め、利用者のニーズに沿ったサービス提供を行いました。

また、より在宅復帰を推進するためスタッフの増強等を図り、令和3年度より移行した在宅復帰超強化型施設の基準を維持しています。

## 利用者数

|    |      |         |
|----|------|---------|
| 入所 | 入所者数 | 28,460人 |
|    | 1日平均 | 78.0人   |
| 通所 | 通所者数 | 5,177人  |
|    | 1日平均 | 21.3人   |



## ●「赤十字健康講座」等の開催

広く県民の健康維持・増進を図ることを目的に、赤十字各施設が連携し、医師や看護師等が岡山赤十字病院で講演を行う「赤十字健康講座」、地域からの要望により医師等を派遣し講演を行う「健康講演」を毎年企画していますが、健康講座についてはコロナ禍により開催を取り止めました。

なお、I型糖尿病の児童・生徒に低血糖症状等が出た際に教職員が適切に対処できることを目的とした「小児のための研修」を岡山赤十字病院と岡山県教育委員会等が連携し、集合とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。



# 4

## 看護師養成事業

### ●岡山赤十字看護専門学校

赤十字の理念である人道を基調とし、豊かな人間性を育み、保健・医療・福祉の分野をはじめ、災害救護の現場で活躍できる基礎的能力をもった看護実践者を育成することを教育理念としています。

令和4年度入学生から新カリキュラムによる教育が始まり、人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解する能力、人間関係を形成するためのコミュニケーション能力、臨床判断を行うための基礎的能力などが養われるよう支援しました。

また、新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、学修効果を考え対面授業を基本とし、各種行事の自粛を緩和するなど、よりよい学校運営を目指しました。

なお、令和5年3月の看護師国家試験では、全員が合格しました。



### 学生数

令和5年3月31日現在

|     |      |
|-----|------|
| 1年生 | 36人  |
| 2年生 | 37人  |
| 3年生 | 36人  |
| 計   | 109人 |

# 5

## 血液事業

岡山県赤十字血液センターでは血液を提供していただける方の募集により血液を採取し、血液製剤を治療を必要とする患者のため医療機関に供給する血液事業を展開しています。採血業者及び製造販売業者としての責務である血液製剤の安全性の確保・向上及び安定供給の確保並びに献血者の保護に努め、確実な血液事業の推進に取り組んでいます。

令和4年度における岡山県の献血者数は、79,251人（対前年度比99.7%）、前年度に比べ277人減少しました。

献血種類別では、400mL 献血者が53,866人（対前年度比99.5%）、200mL 献血者が698人（対前年度比79.6%）、成分献血者が24,687人（対前年度比100.7%）でした。

また、献血ルームや献血バスにおける飛沫防止パネルの設置や除菌の徹底、密を避けるために複数回献血クラブ「ラブラッド」を活用した予約献血、「ラブラッド」のアプリを活用した事前問診を呼びかけるなど、コロナ禍でも安心して献血ができるよう職員一人ひとりが感染予防に留意し、血液の安定的な確保に努めました。

### 性別・献血種類別献血者数

| 献血種類     | 区分 | 献血者数    |         |         | 割合     |
|----------|----|---------|---------|---------|--------|
|          |    | 男       | 女       | 計       |        |
| 200mL 献血 |    | 141人    | 557人    | 698人    | 0.9%   |
| 400mL 献血 |    | 39,581人 | 14,285人 | 53,866人 | 68.0%  |
| 血漿成分献血   |    | 10,246人 | 6,556人  | 16,802人 | 21.2%  |
| 血小板成分献血  |    | 7,678人  | 207人    | 7,885人  | 9.9%   |
| 計        |    | 57,646人 | 21,605人 | 79,251人 | 100.0% |

### 年齢別献血者数

| 年齢   | 10代    | 20代     | 30代     | 40代     | 50代以上   | 計       |
|------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 献血者数 | 2,592人 | 10,302人 | 11,869人 | 20,802人 | 33,686人 | 79,251人 |
| 割合   | 3.3%   | 13.0%   | 15.0%   | 26.2%   | 42.5%   | 100.0%  |

#### ●献血者確保対策事業

- 普及啓発活動
- 広報活動
- 献血推進組織の育成
- 若年層献血推進対策
- 献血ルームの活性化



#### ●その他の事業

- 骨髄ドナー登録の推進
- 医療機関との連携強化
- 特殊製剤国内自給向上対策事業



# 6

## 救急法等の講習

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら講習を開催するとともに、地域や職場、学校などに指導員を派遣して講習を実施しました。また、指導員のスキルアップを目的とし、講習別のフォローアップ研修を開催しました。

なお、接触等を伴う実技が含まれる講習については、日本赤十字社の新型コロナウイルス感染症の「感染対策ガイドライン」に準じて行いました。

### ●救急法

病気やけがや災害から自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助し、医師または救急隊などに引き継ぐまでの応急手当の知識や技術を普及するための講習です。

令和4年度においては、感染対策を図りながら講習を実施しつつ、自宅や会社からでも安心して講習の受講ができるようオンライン講習も行いました。

また、指導員養成講習を開催し、12名の指導員を養成しました。



| 種別  |           | 実施回数(回) | 受講者数(人) | 認定者数(人) |
|-----|-----------|---------|---------|---------|
| 救急法 | 基礎講習      | 29      | 589     | 589     |
|     | 救急員養成講習   | 11      | 199     | 199     |
|     | 短期講習      | 177     | 4,123   |         |
|     | オンライン短期講習 | 6       | 265     |         |
| 計   |           | 223     | 5,176   | 788     |

### ●水上安全法

水を活用して健康の増進を図り、水の事故からいのちを守るための知識や技術を普及するための講習です。

令和4年度は救助員養成講習の開催は見送りましたが、感染対策を図りながら短期講習を実施しました。

短期講習では、親子で参加できる講習を企画し着衣泳等も行いました。



| 種別    |          | 実施回数(回) | 受講者数(人) | 認定者数(人) |
|-------|----------|---------|---------|---------|
| 水上安全法 | 救助員Ⅰ養成講習 | 0       | 0       | 0       |
|       | 救助員Ⅱ養成講習 | 0       | 0       | 0       |
|       | 短期講習     | 5       | 169     |         |
| 計     |          | 5       | 169     | 0       |

## ●幼児安全法

子どもに起こりやすい事故の予防と応急手当の方法、病気への対応の仕方の知識や技術を普及するための講習です。

令和4年度は感染対策を図りながら短期講習、支援員養成講習を開催しました。短期講習では、乳幼児の一次救命処置の内容を含む講習等を実施しました。



| 種別    |           | 実施回数(回) | 受講者数(人) | 認定者数(人) |
|-------|-----------|---------|---------|---------|
| 幼児安全法 | 支援員養成講習   | 2       | 21      | 21      |
|       | 短期講習      | 45      | 730     |         |
|       | オンライン短期講習 | 0       | 0       |         |
| 計     |           | 47      | 751     | 21      |

## ●健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に役立つ介護技術を普及するための講習です。

令和4年度は、体操動画を活用したフレイル予防等の健康増進を図る短期講習や支援員養成講習を開催しました。

また、指導員養成講習を開催し、9名の指導員を養成しました。



| 種別       |         | 実施回数(回)      | 受講者数(人) | 認定者数(人) |  |
|----------|---------|--------------|---------|---------|--|
| 健康生活支援講習 | 支援員養成講習 | 2            | 15      | 15      |  |
|          | 短期講習    | 災害時高齢者生活支援講習 | 3       | 83      |  |
|          |         | 上記を除く短期講習    | 57      | 1,048   |  |
|          |         | オンライン講習      | 0       | 0       |  |
| 計        |         | 62           | 1,146   | 15      |  |

## ●健康生活支援講習を柱とした地域包括ケアの推進

少子高齢社会が進む中、子どもから高齢者まで誰もが安心して幸せに暮らすために、「自助」の意識の醸成と地域で支え合う「互助」により、人と人がつながる地域づくりが課題となっています。

地域住民一人ひとりが、生きがいを感じられる社会をともに創っていくことを目指して、いのちと健康、尊厳を守るための赤十字の講習事業やボランティアの力等を活用しながら、他団体との連携・協働の強化を図っています。

また、コロナ禍の外出自粛は、身体機能低下やうつなどフレイルのリスクを高めることが分かってきました。令和4年度は、感染対策を図りながら自宅でも継続してできるフレイル予防として、「クロス体操」のDVDやチラシを制作し、健康維持・増進に努めました。



## 7

## 赤十字ボランティア

赤十字ボランティア（赤十字奉仕団）は、会員の募集、救護活動、献血の推進等さまざまな赤十字事業の支援や、地域のニーズに応じた社会活動を行っており、行政が推進する地域福祉の一端を担っています。

### ●防災ボランティアの体制整備

長期にわたる幅広い災害ニーズに対応するため、「災害支援ネットワークおかやま」「岡山県災害福祉支援ネットワーク推進会議」等、県下の防災関連ボランティア団体との連携に努めるとともに、内閣府がモデル研修として実施した「避難生活支援リーダー／サポーター研修」にも参加し連携を深めました。

また、総社市社会福祉協議会が設置する「ボランティアセンター運営委員会」に参画するとともに、「総社市災害ボランティアセンター設置演習」に参加しました。

### ●赤十字奉仕団の育成・活動推進

コロナ禍により大規模な研修会等の開催は見合わせましたが、令和4年度は奉仕団の横の連携を図るための会議を開催しました。

| 種別       | 活動内容  |
|----------|---|
| 地域赤十字奉仕団 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域における赤十字活動資金の募集</li> <li>● 地域における防災訓練やイベントへの参加</li> <li>● 地域福祉等の活動</li> </ul> |
| 青年赤十字奉仕団 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● NHK 海外たすけあい街頭募金活動</li> <li>● 献血推進活動</li> </ul>                                 |
| 特殊赤十字奉仕団 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 救急法等の講習普及活動</li> <li>● 災害時の救護活動支援</li> <li>● 視覚障がい者支援のための点訳教室</li> </ul>       |





# 8

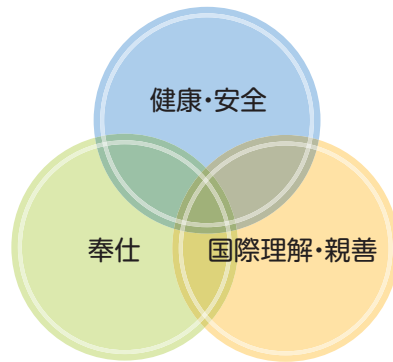
## 青少年赤十字 (JRC)

青少年赤十字 (JRC) は、子どもたちが「人のいのちと健康、尊厳」を大切に  
する人道的価値観を身につけ行動できるようになることを目指して、教育現場におい  
て教員等が指導者となり活動を展開する事業です。

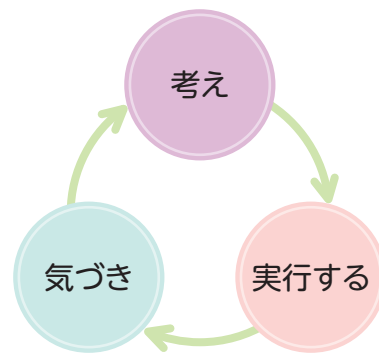
その活動は、「気づき・考え・実行する」という自主性に基づき、世界の青少年  
赤十字に共通している次の3つの実践目標を掲げて青少年の発達段階や各学校の取  
り組みに合わせた活動を展開しています。

大正11年に滋賀県で日本初の青少年赤十字が誕生し、その後も全国で活動が展  
開されてきました。令和4年は青少年赤十字創設100周年であったことから、記念書  
籍「青少年赤十字のひみつ」の配布のほか、SNSを活用した青少年赤十字活動  
の見える化、記念グッズ配布等の周年事業を実施しました。

青少年赤十字の実践目標



青少年赤十字の態度目標



青少年赤十字の加盟状況

| 種別      | 加盟校<br>(園)数 | 児童・生徒数 (人) |        |        | グループ数 |
|---------|-------------|------------|--------|--------|-------|
|         |             | 男          | 女      | 計      |       |
| 幼稚園     | 2           | 114        | 127    | 241    | 11    |
| 保育所 (園) | 23          | 1,006      | 1,010  | 2,016  | 123   |
| 認定こども園  | 7           | 399        | 357    | 756    | 36    |
| 小学校     | 48          | 6,710      | 6,236  | 12,946 | 614   |
| 中学校     | 31          | 3,911      | 3,473  | 7,384  | 282   |
| 義務教育校   | 1           | 27         | 17     | 44     | 1     |
| 高等学校    | 36          | 4,257      | 3,512  | 7,769  | 254   |
| 中等教育学校  | 1           | 101        | 52     | 153    | 9     |
| 特別支援学校  | 4           | 280        | 150    | 430    | 73    |
| 計       | 153         | 16,805     | 14,934 | 31,739 | 1,403 |



## 9

## 広報活動

赤十字の理念や活動内容、活動資金の用途について一人でも多くの方々にご理解いただけるよう、広報活動を展開しました。

コロナ禍においても赤十字の活動を広く伝えるため、テレビ、新聞などに取り上げられるよう報道機関への積極的なプレスリリースを行うとともに、SNSを活用し、より幅広い世代に向けた情報発信の推進など、以下の広報活動に取り組みました。

また、地区・分区における広報活動で活用いただけるよう、窓口に設置できる卓上用ミニのぼりを作製、配布したほか、活動内容を紹介するパネルの貸し出しを行いました。

### ● 広報資材

- 広報紙「赤十字おかやま」の発行
- 地区・分区、協力者等への「赤十字NEWS」の配布
- 県下全域でのポスター掲示
- 会員加入促進のためのリーフレット・チラシの配布
- 事業計画書・事業報告書の作成・配布
- 広報イベント等で活用するテーブルクロス作製



### ● メディア広報

- CM放送（テレビ・ケーブルテレビ・ラジオ）
- プレスリリースの発信による取材・報道
- 有功会員の協賛による新聞広告
- 新聞への記事広告掲載
- SNS（Facebook、Instagram、YouTube）を活用した情報発信



### ● 広報イベント

企業・団体等主催イベントにおける赤十字ブース（車両展示・パネル展示等）を出展しました。なお出展時には、手指消毒、車内見学の人数制限、定期的な車内の消毒など、感染防止に配慮しました。



## 10

## 会員の加入促進と活動資金の募集

岡山県支部が行う活動は、赤十字会員及び赤十字活動に賛同する方々からお寄せいただく活動資金により支えられています。

赤十字の各種活動を進めるためには、より多くの方々のご理解を得て赤十字会員の増強や活動資金の安定的な確保に努める必要があります。

例年5月の「赤十字運動月間」を中心に赤十字会員への加入勧奨を行っていますが、新型コロナウイルスの感染拡大は、令和4年度においても活動資金募集に大きな影響を及ぼしました。

このため、寄付つき自販機やクレジットカード決済等による活動資金の募集に努めたほか、ダイレクトメールによる協力依頼を強化しました。

## ●活動資金の件数及び実績額

令和5年3月31日現在

| 地区名     | 件数(件)   | 実績額(円)      |
|---------|---------|-------------|
| 岡山市地区本部 | 51,132  | 37,970,885  |
| 倉敷市地区   | 48,162  | 34,312,620  |
| 津山市地区   | 9,573   | 8,945,000   |
| 玉野市地区   | 9,475   | 7,005,400   |
| 笠岡市地区   | 10,092  | 7,292,500   |
| 井原市地区   | 8,539   | 5,428,450   |
| 総社市地区   | 10,529  | 9,104,800   |
| 高梁市地区   | 6,378   | 5,090,300   |
| 新見市地区   | 3,994   | 3,601,300   |
| 備前市地区   | 3,872   | 3,097,381   |
| 瀬戸内市地区  | 913     | 1,329,735   |
| 赤磐市地区   | 5,176   | 4,308,520   |
| 真庭市地区   | 8,311   | 6,382,009   |
| 美作市地区   | 5,306   | 4,243,950   |
| 浅口市地区   | 5,378   | 4,296,600   |
| 和気町分区   | 3,031   | 2,380,800   |
| 早島町分区   | 1,045   | 665,529     |
| 里庄町分区   | 37      | 1,331,500   |
| 矢掛町分区   | 3,567   | 3,383,050   |
| 新庄村分区   | 165     | 145,200     |
| 鏡野町分区   | 1,927   | 1,808,000   |
| 勝央町分区   | 1,831   | 1,695,000   |
| 奈義町分区   | 1,022   | 1,375,500   |
| 西粟倉村分区  | 366     | 319,500     |
| 久米南町分区  | 1,010   | 807,500     |
| 美咲町分区   | 2,480   | 1,772,500   |
| 吉備中央町分区 | 1,362   | 1,235,800   |
| 支部扱い    | 5,274   | 134,635,826 |
| 計       | 209,947 | 293,965,155 |

※支部扱い：企業訪問・ダイレクトメール・寄付つき自販機・クレジットカード決済等

## ●全国赤十字大会

令和4年5月19日に東京都渋谷区の明治神宮会館において「全国赤十字大会」が開催され、岡山県より6人が参会しました。

## ●日本赤十字社による表彰

多額の活動資金にご協力いただいた方々や赤十字事業への功労者に対する、日本赤十字社による表彰制度があります。

銀色有功章、金色有功章、社長感謝状については、令和4年11月29日に岡山県支部で開催した「日本赤十字社有功章等伝達式」において、伊原木隆太支部長から受章者に伝達を行いました。

令和4年度の受章者数は以下のとおりです。

### 種別及び受章者数

| 種別     |    | 受章者数 |
|--------|----|------|
| 支部長表彰状 | 個人 | 37人  |
|        | 法人 | 29社  |
| 支部長感謝状 | 個人 | 16人  |
|        | 法人 | 6社   |
| 銀色有功章  | 個人 | 16人  |
|        | 法人 | 22社  |
| 金色有功章  | 個人 | 7人   |
|        | 法人 | 14社  |
| 社長感謝状  | 個人 | 3人   |
|        | 法人 | 16社  |

## ●国による表彰

多額の活動資金にご協力いただいた方々に対し、国による表彰の伝達を行いました。令和4年度の受章者数は以下のとおりです。

### 種別及び受章者数

| 種別        |    | 受章者数 |
|-----------|----|------|
| 厚生労働大臣感謝状 | 個人 | 1人   |
|           | 法人 | 1社   |
| 紺綬褒章      | 個人 | 2人   |
|           | 法人 | 0社   |

## ●遺贈・相続財産による寄付の推進

令和元年度より開催している「赤十字終活セミナー」は、近年関心が高まっている「遺贈」や「相続財産による寄付」について学べる場として開催の要望が寄せられていましたが、令和4年度も新型コロナウイルスの感染拡大を受け、参加者の安全を最優先するため中止としました。

また、日本赤十字社が「遺贈」や「相続財産による寄付」の受け入れ団体であることを広く周知するため、山陽新聞に4回、広告を掲載しました。

## 令和4年度一般会計歳入歳出決算概算書

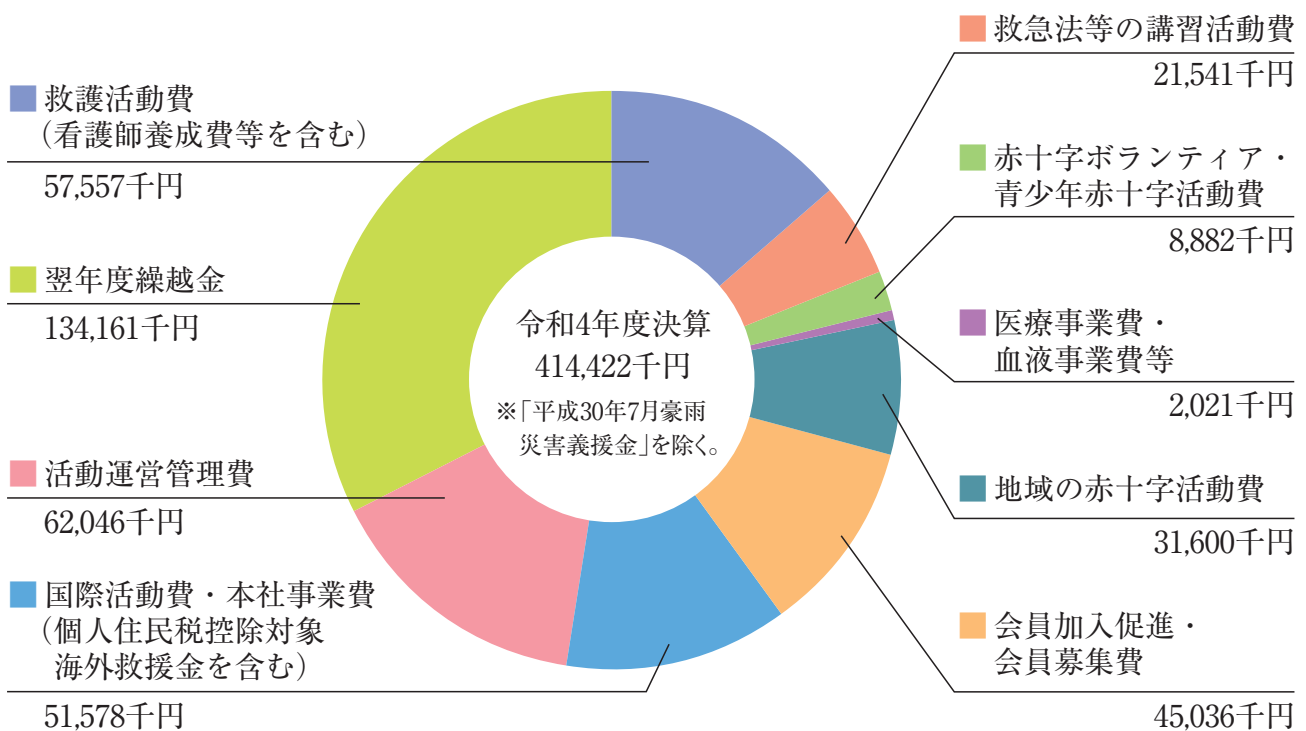
(単位：千円)

| 科 目                            | 決算額            |
|--------------------------------|----------------|
| 活動資金（会費および寄付金）収入               | 293,965        |
| 個人住民税控除対象海外救援金                 | 8,619          |
| 本社交付金収入                        | 3,664          |
| 資金繰入金・資産収入                     | 18,288         |
| 各種講習教本代等雑収入                    | 6,319          |
| 前年度繰越金                         | 83,567         |
| <b>歳 入 計</b>                   | <b>414,422</b> |
| 救護活動費（看護師養成費等を含む）              | 57,557         |
| 救急法等の講習活動費                     | 21,541         |
| 赤十字ボランティア・青少年赤十字活動費            | 8,882          |
| 医療事業費・血液事業費等                   | 2,021          |
| 地域の赤十字活動費                      | 31,600         |
| 会員加入促進・会員募集費                   | 45,036         |
| 国際活動費・本社事業費（個人住民税控除対象海外救援金を含む） | 51,578         |
| 活動運営管理費                        | 62,046         |
| 翌年度繰越金                         | 134,161        |
| <b>歳 出 計</b>                   | <b>414,422</b> |

## ●平成30年7月豪雨災害義援金

(単位：千円)

|                    |        |
|--------------------|--------|
| 受付額（令和4年度）         | 8,046  |
| 岡山県災害義援金配分委員会への送金額 | 16,765 |
| (内訳) 令和3年度受付分      | 8,719  |
| 令和4年度受付分           | 8,046  |





名簿

## 日本赤十字社役員名簿（岡山県支部選出）

令和5年3月31日現在

| 役職名 | 氏名    | 公職名                                  | 就任年月日      |
|-----|-------|--------------------------------------|------------|
| 理事  | 中島 博  | ナカシマホールディングス株式会社<br>代表取締役会長          | 平成22年4月1日  |
| 代議員 | 末長 範彦 | 岡山トヨペット株式会社 代表取締役会長                  | 平成18年3月1日  |
| 代議員 | 中島 博  | ナカシマホールディングス株式会社<br>代表取締役会長          | 平成22年2月14日 |
| 代議員 | 松田 久  | 岡山商工会議所 会頭・両備ホールデ<br>ィングス株式会社 取締役副会長 | 平成25年2月14日 |
| 代議員 | 宮長 雅人 | 株式会社中国銀行 取締役会長                       | 平成28年2月14日 |
| 代議員 | 松山 正春 | 岡山県医師会 会長                            | 平成31年2月14日 |

## 日本赤十字社岡山県支部役員名簿

令和5年3月31日現在

| 役職名  | 氏名     | 公職名                         | 就任年月日       |
|------|--------|-----------------------------|-------------|
| 支部長  | 伊原木 隆太 | 岡山県知事                       | 平成24年11月12日 |
| 副支部長 | 中島 博   | ナカシマホールディングス株式会社<br>代表取締役会長 | 平成22年1月23日  |
| 副支部長 | 伊東 香織  | 岡山県市長会 会長・倉敷市長              | 令和3年6月17日   |
| 監査委員 | 宮崎 孝司  | 元川上町長                       | 平成19年1月23日  |
| 監査委員 | 平松 卓雄  | 前岡山県社会福祉協議会 常務理事            | 平成30年10月20日 |
| 参与   | 徳本 史郎  | 岡山県保健福祉部長                   | 令和4年7月1日    |
| 参与   | 片山 圭子  | 岡山県保健福祉部理事                  | 令和4年4月1日    |



日本赤十字社岡山県支部評議員名簿

令和5年3月31日現在

| No. | 氏名     | 選出地区  | 公職名                              | 就任年月日       |
|-----|--------|-------|----------------------------------|-------------|
| 1   | 大森 雅夫  | 岡山市   | 岡山市長                             | 平成25年10月9日  |
| 2   | 塩見 楨子  | 〃     | 岡山市連合婦人会 会長                      | 平成25年4月1日   |
| 3   | 内田 通子  | 〃     | 岡山市社会福祉協議会 会長                    | 平成22年10月26日 |
| 4   | 藤原 繁利  | 〃     | 岡山市社会福祉協議会 副会長                   | 平成29年8月14日  |
| 5   | 伊東 香織  | 倉敷市   | 倉敷市長                             | 平成20年5月19日  |
| 6   | 中桐 泰   | 〃     | 倉敷市社会福祉協議会 会長                    | 平成29年4月1日   |
| 7   | 内田 浩二  | 〃     | 倉敷市社会福祉協議会 副会長                   | 令和2年1月18日   |
| 8   | 土屋 紀子  | 〃     | 倉敷市婦人協議会 会長                      | 平成30年5月29日  |
| 9   | 谷口 圭三  | 津山市   | 津山市長                             | 平成30年3月12日  |
| 10  | 柴田 義朗  | 玉野市   | 玉野市長                             | 令和3年11月22日  |
| 11  | 小林 嘉文  | 笠岡市   | 笠岡市長                             | 平成28年4月24日  |
| 12  | 大舌 勲   | 井原市   | 井原市長                             | 平成30年9月16日  |
| 13  | 片岡 聡一  | 総社市   | 総社市長                             | 平成19年12月4日  |
| 14  | 近藤 隆則  | 高梁市   | 高梁市長                             | 平成21年1月16日  |
| 15  | 戎 斉    | 新見市   | 新見市長                             | 令和2年12月23日  |
| 16  | 吉村 武司  | 備前市   | 備前市長                             | 令和3年4月24日   |
| 17  | 武久 顕也  | 瀬戸内市  | 瀬戸内市長                            | 平成21年7月21日  |
| 18  | 友實 武則  | 赤磐市   | 赤磐市長                             | 平成25年4月17日  |
| 19  | 太田 昇   | 真庭市   | 真庭市長                             | 平成25年4月24日  |
| 20  | 萩原 誠司  | 美作市   | 美作市長                             | 平成26年3月30日  |
| 21  | 栗山 康彦  | 浅口市   | 浅口市長                             | 平成22年4月23日  |
| 22  | 太田 啓補  | 和気町   | 和気町長                             | 令和4年4月16日   |
| 23  | 中川 真寿男 | 早島町   | 早島町長                             | 平成27年8月28日  |
| 24  | 加藤 泰久  | 里庄町   | 里庄町長                             | 平成30年2月5日   |
| 25  | 山岡 敦   | 矢掛町   | 矢掛町長                             | 令和4年5月20日   |
| 26  | 小倉 博俊  | 新庄村   | 新庄村長                             | 平成26年9月8日   |
| 27  | 山崎 親男  | 鏡野町   | 鏡野町長                             | 平成19年2月14日  |
| 28  | 水嶋 淳治  | 勝央町   | 勝央町長                             | 平成23年9月12日  |
| 29  | 奥 正親   | 奈義町   | 奈義町長                             | 平成31年2月15日  |
| 30  | 青木 秀樹  | 西粟倉村  | 西粟倉村長                            | 平成23年9月12日  |
| 31  | 片山 篤   | 久米南町  | 久米南町長                            | 平成28年7月24日  |
| 32  | 青野 高陽  | 美咲町   | 美咲町長                             | 平成30年12月9日  |
| 33  | 山本 雅則  | 吉備中央町 | 吉備中央町長                           | 平成24年10月24日 |
| 34  | 松田 久   | 支部長   | 岡山商工会議所 会頭・両備ホールディングス株式会社 取締役副会長 | 平成25年2月14日  |
| 35  | 松田 正己  | 〃     | 株式会社山陽新聞社 代表取締役社長                | 平成25年2月14日  |
| 36  | 野崎 泰彦  | 〃     | 岡山県経営者協会 会長                      | 令和4年2月14日   |
| 37  | 藤森 徹   | 〃     | RSK ホールディングス株式会社 取締役             | 令和3年6月29日   |
| 38  | 三宅 啓一  | 〃     | 株式会社大本組 代表取締役社長                  | 令和3年4月1日    |
| 39  | 田村 正敏  | 〃     | 岡山県商工会連合会 会長                     | 令和3年5月30日   |
| 40  | 大西 泰子  | 〃     | 岡山県婦人協議会 会長                      | 平成30年5月28日  |
| 41  | 梶原 美砂子 | 〃     | 岡山県商工会議所女性会連合会 特別顧問              | 平成10年2月14日  |

# 地域赤十字奉仕団名簿

令和5年3月31日現在

| No. | 奉仕団名         | 結成年月日       | 委員長氏名   | 就任年月日      | 分団数 | 班数  | 団員数(人) |        |        |
|-----|--------------|-------------|---------|------------|-----|-----|--------|--------|--------|
|     |              |             |         |            |     |     | 男      | 女      | 計      |
| 1   | 岡山市赤十字奉仕団    | 昭和21年12月6日  | 塩見 楨子   | 平成25年4月1日  | 33  | 424 | 0      | 6,280  | 6,280  |
| 2   | 岡山市御津赤十字奉仕団  | 昭和28年5月1日   | 齊藤 節子   | 令和3年4月1日   | 1   | 6   | 0      | 141    | 141    |
| 3   | 倉敷市倉敷赤十字奉仕団  | 昭和30年4月1日   | 大矢 禎子   | 平成19年4月1日  | 5   | 15  | 0      | 347    | 347    |
| 4   | 倉敷市児島赤十字奉仕団  | 平成11年4月1日   | 中村 榮子   | 平成31年4月1日  | 0   | 6   | 0      | 50     | 50     |
| 5   | 倉敷市玉島赤十字奉仕団  | 昭和31年4月1日   | 瀧澤 英子   | 平成19年4月1日  | 1   | 0   | 0      | 20     | 20     |
| 6   | 倉敷市真備赤十字奉仕団  | 昭和40年5月1日   | 松王 資子   | 平成28年4月1日  | 1   | 4   | 0      | 88     | 88     |
| 7   | 津山市赤十字奉仕団    | 昭和39年5月1日   | 市村 通恵   | 令和4年6月30日  | 0   | 0   | 0      | 28     | 28     |
| 8   | 玉野市赤十字奉仕団    | 昭和32年4月1日   | 平木 由美   | 令和4年2月16日  | 0   | 0   | 11     | 7      | 18     |
| 9   | 笠岡市赤十字奉仕団    | 昭和42年4月1日   | 吉岡 祥子   | 平成27年4月25日 | 4   | 4   | 0      | 110    | 110    |
| 10  | 井原市赤十字奉仕団    | 昭和32年1月1日   | 上野 寛    | 令和4年4月20日  | 0   | 13  | 706    | 141    | 847    |
| 11  | 総社市赤十字奉仕団    | 昭和32年4月10日  | 山口 久子   | 平成22年6月18日 | 9   | 0   | 12     | 650    | 662    |
| 12  | 高梁市赤十字奉仕団    | 昭和30年4月1日   | 田村 順子   | 平成30年4月27日 | 3   | 0   | 0      | 280    | 280    |
| 13  | 高梁市有漢町赤十字奉仕団 | 昭和31年5月21日  | 佐分利 睦子  | 平成30年5月27日 | 0   | 0   | 3      | 31     | 34     |
| 14  | 高梁市成羽町赤十字奉仕団 | 昭和38年9月6日   | 那須 閑子   | 令和2年4月1日   | 1   | 4   | 0      | 105    | 105    |
| 15  | 高梁市川上町赤十字奉仕団 | 昭和44年10月6日  | 小神 英子   | 令和4年4月11日  | 0   | 0   | 6      | 89     | 95     |
| 16  | 新見市赤十字奉仕団    | 昭和31年12月1日  | 池永 繁子   | 平成22年4月1日  | 0   | 0   | 0      | 71     | 71     |
| 17  | 新見市大佐赤十字奉仕団  | 平成14年12月17日 | 平田 国子   | 平成19年4月26日 | 0   | 0   | 7      | 26     | 33     |
| 18  | 新見市神郷赤十字奉仕団  | 平成19年4月1日   | 杉本 千恵子  | 令和2年4月1日   | 1   | 1   | 1      | 113    | 114    |
| 19  | 新見市哲多町赤十字奉仕団 | 昭和51年2月20日  | 小川 洋子   | 令和2年7月16日  | 1   | 3   | 5      | 44     | 49     |
| 20  | 新見市哲西町赤十字奉仕団 | 平成14年4月22日  | 浅井 郁三   | 令和3年11月1日  | 0   | 0   | 32     | 47     | 79     |
| 21  | 備前市赤十字奉仕団    | 平成12年7月12日  | 立川 涼子   | 平成31年4月1日  | 7   | 0   | 0      | 142    | 142    |
| 22  | 赤磐市赤坂赤十字奉仕団  | 昭和39年4月1日   | 小西 清美   | 平成22年4月1日  | 1   | 1   | 0      | 70     | 70     |
| 23  | 真庭市赤十字奉仕団    | 昭和43年4月1日   | 廣岡 敬子   | 令和3年8月1日   | 3   | 0   | 1      | 111    | 112    |
| 24  | 美作市勝田赤十字奉仕団  | 平成18年4月1日   |         |            |     |     |        |        | 0      |
| 25  | 美作市美作赤十字奉仕団  | 昭和39年9月1日   | 粟井 澄子   | 平成26年6月1日  | 0   | 0   | 2      | 9      | 11     |
| 26  | 美作市作東赤十字奉仕団  | 平成3年4月1日    | 山本 文子   | 平成15年4月1日  | 1   | 2   | 0      | 58     | 58     |
| 27  | 浅口市金光赤十字奉仕団  | 昭和39年4月1日   | 山田 直子   | 平成20年4月1日  | 12  | 21  | 0      | 109    | 109    |
| 28  | 浅口市鴨方赤十字奉仕団  | 昭和38年5月6日   | 筒井 由紀子  | 平成28年4月1日  | 0   | 0   | 0      | 102    | 102    |
| 29  | 和気町赤十字奉仕団    | 昭和31年6月1日   | 小金谷 香代子 | 平成26年4月1日  | 1   | 1   | 0      | 30     | 30     |
| 30  | 早島町赤十字奉仕団    | 昭和46年12月20日 | 河田 智子   | 平成18年4月1日  | 1   | 0   | 0      | 67     | 67     |
| 31  | 里庄町赤十字奉仕団    | 平成14年1月8日   | 山田 恵津子  | 平成20年4月1日  | 0   | 0   | 0      | 783    | 783    |
| 32  | 勝央町赤十字奉仕団    | 昭和28年4月10日  | 笠尾 和子   | 令和元年12月3日  | 1   | 1   | 20     | 14     | 34     |
| 33  | 美咲町赤十字奉仕団    | 昭和32年9月1日   | 大西 泰子   | 平成17年3月22日 | 0   | 3   | 0      | 370    | 370    |
| 34  | 久米南町赤十字奉仕団   | 昭和59年4月1日   | 片山 朋子   | 平成30年4月1日  | 3   | 3   | 0      | 144    | 144    |
| 合計  |              |             |         |            | 90  | 512 | 806    | 10,677 | 11,483 |

## 青年赤十字奉仕団名簿

令和5年3月31日現在

| No. | 奉仕団名                        | 結成年月日      | 委員長氏名 | 就任年月日     | 団員数(人) |     |     |
|-----|-----------------------------|------------|-------|-----------|--------|-----|-----|
|     |                             |            |       |           | 男      | 女   | 計   |
| 1   | 岡山県青年赤十字奉仕団                 | 昭和28年5月1日  | 松下 美幸 | 令和3年5月14日 | 4      | 4   | 8   |
| 2   | 岡山赤十字看護専門学校学生奉仕団            | 昭和46年2月16日 | 大森 麻矢 | 令和4年4月1日  | 5      | 74  | 79  |
| 3   | 川崎医療福祉大学学生赤十字奉仕団 R.C.Y.Will | 平成3年12月15日 | 松富 未奈 | 令和4年11月4日 | 6      | 70  | 76  |
| 合計  |                             |            |       |           | 15     | 148 | 163 |

## 特殊赤十字奉仕団名簿

令和5年3月31日現在

| No. | 奉仕団名              | 結成年月日      | 委員長氏名   | 就任年月日      | 団員数(人) |    |     |
|-----|-------------------|------------|---------|------------|--------|----|-----|
|     |                   |            |         |            | 男      | 女  | 計   |
| 1   | 岡山県赤十字点訳奉仕団       | 昭和42年7月15日 | 宇津木 順一郎 | 昭和46年7月15日 | 6      | 17 | 23  |
| 2   | 日本赤十字社岡山県支部安全法奉仕団 | 平成9年6月1日   | 茅野 匠    | 令和3年6月1日   | 44     | 45 | 89  |
| 3   | 岡山ライフセービング赤十字奉仕団  | 平成11年6月8日  | 熊澤 一彦   | 平成30年5月19日 | 32     | 8  | 40  |
| 4   | 岡山県青少年赤十字賛助奉仕団    | 平成16年4月20日 | 難波 宏明   | 令和3年4月1日   | 26     | 4  | 30  |
| 5   | 岡山赤十字災害支援奉仕団      | 令和2年5月8日   | 山本 松美   | 令和2年5月8日   | 55     | 23 | 78  |
| 合計  |                   |            |         |            | 163    | 97 | 260 |

## 岡山県赤十字有功会役員名簿

令和5年3月31日現在

| 役職名  | 氏名     | 公職名                      |
|------|--------|--------------------------|
| 名誉会長 | 池田 厚子  |                          |
| 会長   | 末長 範彦  | 岡山トヨペット株式会社 代表取締役会長      |
| 副会長  | 松田 久   | 両備ホールディングス株式会社 取締役副会長    |
| 副会長  | 永山 久夫  | 岡山プラザホテル株式会社 代表取締役会長     |
| 副会長  | 恵谷 龍二  | 株式会社ケイコーポレーション 代表取締役社長   |
| 会計監査 | 平田 啓子  | 西日本株式会社 代表取締役            |
| 会計監査 | 平松 晃弘  | 平松エンタープライズ株式会社 代表取締役社長   |
| 理事   | 全本 親民  | 株式会社ソフィア 代表取締役           |
| 理事   | 高木 晶悟  | 株式会社トマト銀行 取締役社長          |
| 理事   | 千原 行喜  | 岡山県遊技業協同組合 理事長           |
| 理事   | 高田 美紀子 | 岡山商工会議所女性会 会長            |
| 理事   | 尾崎 茂   | 菅公学生服株式会社 代表取締役社長        |
| 理事   | 原田 育秀  | 株式会社中国銀行 代表取締役専務         |
| 理事   | 三宅 啓一  | 株式会社大本組 代表取締役社長          |
| 理事   | 藤森 徹   | RSK ホールディングス株式会社 取締役     |
| 理事   | 馬屋原 章  | 岡山県貨物運送株式会社 取締役副社長       |
| 顧問   | 岡崎 彬   | 岡山ガス株式会社 代表取締役会長         |
| 顧問   | 大原 謙一郎 | 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 理事・会長 |
| 顧問   | 木住 勝美  | 株式会社天満屋 取締役相談役           |
| 顧問   | 松田 正己  | 株式会社山陽新聞社 代表取締役社長        |
| 幹事   | 上原 毅   | 日本赤十字社岡山県支部 事務局長         |



 Facebook



 Instagram



 YouTube



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

岡山県支部